



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 エイベックス株式会社

コード番号 7860

URL <https://avex.com/jp/ja/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) 黒岩 克巳

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CFO

(氏名) 林 真司 (TEL) 03(6447)5366

四半期報告書提出予定日 2020年11月6日

配当支払開始予定日 2020年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け動画配信を予定)

(百万円未満切捨て)

1 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	34,279	△44.0	△2,229	—	△2,557	—	△3,289	—
2020年3月期第2四半期	61,189	△26.3	△688	—	△1,187	—	△1,762	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △732百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △1,433百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△75.53	—
2020年3月期第2四半期	△40.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	113,089	47,201	38.9
2020年3月期	120,414	49,449	38.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 43,965百万円 2020年3月期 46,010百万円

2 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2021年3月期の期末配当につきましては、現段階では未定としております。

3 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、現時点においても新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難であること及び希望退職者の募集人数が不確定であることから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社(社名) ー 除外 一社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	45,343,500株	2020年3月期	45,223,600株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,700,102株	2020年3月期	1,735,298株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	43,547,440株	2020年3月期2Q	43,398,112株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株会信託型ESOP信託口が保有する当社株式(2021年3月期2Q 22,300株、2020年3月期 57,700株)が含まれております。また、従業員持株会信託型ESOP信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2021年3月期2Q 41,073株、2020年3月期2Q 99,639株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

第2四半期 連結累計期間実績	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高	75,648	68,405	83,012	61,189	34,279
売上原価	54,231	48,967	60,067	44,658	23,060
売上総利益	21,417	19,438	22,945	16,531	11,218
売上総利益率	28.3%	28.4%	27.6%	27.0%	32.7%
人件費	6,394	6,097	6,626	5,647	5,360
販促宣伝費	4,334	3,947	4,802	3,948	2,330
一般経費	7,720	8,550	7,803	7,624	5,756
販管費合計	18,449	18,594	19,232	17,220	13,447
営業利益又は営業損失(△)	2,967	843	3,712	△688	△2,229
営業利益率	3.9%	1.2%	4.5%	－%	－%

当社グループが属するエンタテインメント業界の環境としましては、音楽ビデオを含む音楽ソフトの生産金額が前年同期比20.5%減の1,202億81百万円(2020年1月～8月。一般社団法人日本レコード協会調べ)、有料音楽配信売上金額が前年同期比11.0%増の377億58百万円(2020年1月～6月。一般社団法人日本レコード協会調べ)となりました。映像関連市場につきましては、映像ソフトの売上金額が前年同期比7.3%減の943億99百万円(2020年1月～8月。一般社団法人日本映像ソフト協会調べ)となったものの、映像配信市場は、映像配信サービスの強化や、テレビデバイス対応及び5Gの普及等ユーザーの利便性に繋がる環境の変化を踏まえ、今後も拡大することが予想されます。

このような事業環境の下、当社グループでは中長期的な成長を実現するために、強いIPの創造に向けて、アーティスト・タレントの発掘・育成及びアニメ・映像作品やゲーム等の企画・開発、テクノロジーを活かした新たなビジネスの追求、国内外の有望なパートナーとの連携による事業開発を進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績としましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴うライブ・イベントの開催自粛の影響により、売上高は342億79百万円(前年同期比44.0%減)、営業損失は22億29百万円(前年同期は営業損失6億88百万円)となりました。また、ライブ・イベントの開催を自粛したこと等による損失及び従業員に対して支給した休業補償として、災害による損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は32億89百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失17億62百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて73億24百万円減少し、1,130億89百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が72億27百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて50億76百万円減少し、658億87百万円となりました。これは主に、短期借入金100億円増加したものの、未払金が106億83百万円、流動負債の「その他」が35億1百万円及び長期借入金が14億62百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて22億47百万円減少し、472億1百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が20億66百万円増加したものの、利益剰余金が43億78百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においても新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難であること及び希望退職者の募集人数が不確定であることから未定としております。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,956	18,447
受取手形及び売掛金	18,100	10,872
商品及び製品	1,243	1,686
番組及び仕掛品	4,012	3,441
原材料及び貯蔵品	275	274
その他	13,025	9,192
貸倒引当金	△181	△169
流動資産合計	54,432	43,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,282	14,931
土地	29,770	29,770
その他（純額）	892	798
有形固定資産合計	45,945	45,500
無形固定資産	4,878	4,927
投資その他の資産		
投資有価証券	7,490	10,227
その他	7,699	8,718
貸倒引当金	△31	△29
投資その他の資産合計	15,158	18,916
固定資産合計	65,981	69,345
資産合計	120,414	113,089
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,470	1,411
短期借入金	16,000	26,000
1年内返済予定の長期借入金	3,065	3,070
未払金	21,824	11,140
未払法人税等	632	987
賞与引当金	503	10
返品引当金	3,244	2,945
ポイント引当金	43	41
偶発損失引当金	455	455
その他	17,210	13,708
流動負債合計	64,449	59,772
固定負債		
長期借入金	4,563	3,101
退職給付に係る負債	711	721
その他	1,240	2,292
固定負債合計	6,515	6,115
負債合計	70,964	65,887

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,392	4,443
資本剰余金	5,109	5,161
利益剰余金	39,559	35,180
自己株式	△3,371	△3,318
株主資本合計	45,689	41,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	686	2,752
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△87	△69
退職給付に係る調整累計額	△277	△183
その他の包括利益累計額合計	321	2,499
新株予約権	370	373
非支配株主持分	3,068	2,862
純資産合計	49,449	47,201
負債純資産合計	120,414	113,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	61,189	34,279
売上原価	44,658	23,060
売上総利益	16,531	11,218
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,983	1,840
販売促進費	965	490
従業員給料及び賞与	3,620	3,411
賞与引当金繰入額	10	10
退職給付費用	205	253
その他	9,434	7,441
販売費及び一般管理費合計	17,220	13,447
営業損失(△)	△688	△2,229
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	5	1
補助金収入	—	12
受取補償金	26	—
その他	25	32
営業外収益合計	67	52
営業外費用		
支払利息	34	35
持分法による投資損失	363	292
投資事業組合運用損	77	1
その他	89	51
営業外費用合計	565	380
経常損失(△)	△1,187	△2,557
特別利益		
雇用調整助成金	—	263
投資有価証券売却益	120	—
新株予約権戻入益	11	—
特別利益合計	132	263
特別損失		
減損損失	85	—
災害による損失	—	826
投資有価証券評価損	58	—
事業整理損	30	—
特別損失合計	174	826
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,230	△3,120
法人税、住民税及び事業税	589	621
法人税等調整額	△393	△832
法人税等合計	196	△210
四半期純損失(△)	△1,426	△2,910
非支配株主に帰属する四半期純利益	335	379
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,762	△3,289

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,426	△2,910
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	2,072
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	18	17
退職給付に係る調整額	25	77
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	10
その他の包括利益合計	△7	2,177
四半期包括利益	△1,433	△732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,769	△1,111
非支配株主に係る四半期包括利益	335	379

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、当社グループ従業員の労働意欲の向上や経営参画を促すとともに、株式価値の向上を目指した経営を一層推進することにより中長期的な企業価値を高めることを目的とし、当社グループ従業員へのインセンティブ・プラン(以下、「当プラン」という。)として「従業員持株会信託型ESOP」(以下、「ESOP信託口」という。)を2017年8月に再導入しております。

1 取引の概要

当プランでは、「エイベックス社員持株会」(以下、「当社持株会」という。)へ当社株式を譲渡し、ていく目的で設立するESOP信託口が当社持株会が取得する規模の株式を予め一括して取得して、信託の設定後約5年間にわたり当社持株会への売却を行います。

当社株式の取得及び処分については、当社と信託口は一体であるとする会計処理をしております。従って、信託口が保有する当社株式を含む資産及び負債並びに損益については、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に含めて計上しております。

2 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度87百万円、57千株、当第2四半期連結会計年度33百万円、22千株であります。

3 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度107百万円、当第2四半期連結会計期間75百万円

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第2四半期連結累計期間までの新型コロナウイルス感染症の感染拡大の現状を考慮し、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響時期等を含む仮定について、見直しを行いました。

その結果、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響は、2021年3月期の一定期間継続し、その後は緩やかに回復していくと仮定し、会計上の見積りを行っております。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。